

数 学 科



学習のめあて

- 数量・図形に関する基礎的な知識、技能を身に付ける。
- 筋道を立てて考え、ものごとを合理的に処理する能力を伸ばす。
- 自主的・積極的に考え、新しいものごとを理解し、創造しようとする能力と態度を養う。

【数学を学ぶことで身に付くこと】

数学は計算ができるようになるだけの教科ではありません。考え方を鍛えることもできる教科です。あることを基本にして次の新しいことを考えるような論理的な思考を鍛えることができます。これは、思いつくスピードや、計算のスピードの違いは数学の考え方の深さと必ずしも一致しません。それぞれにスピードの差はあっても、みんなに「数学的な考え方」を身に付けて欲しいと願っています。

アドバイス

【授業への取り組み方】

- 1 自分に与えられた時間を有効に使うように努力していきましょう。
道具の忘れは、いけません。授業の前に確認し、担当の先生に連絡をしましょう。
- 2 基本は、一時間ずつ、自分で考えてやってみることです。
どこがわからないのかがはっきりとしてきます。わからないときは、どんどん質問をしましょう。

※つまずいたら、一度前へ戻ってみることが大切です。理解できたつもりでも、必ず問題が解けるとは限りません。授業の中で学習したことがらを使って、自分の力で問題解決できるように、できるまで繰り返し学習することが大切です。

学習の内容

一週あたりの授業時数は1年と3年が4時間、2年が3時間です。

各学年の単元配列は、だいたいにおいて、数と式→関数→図形（→確率・統計）となっています。

それらの単元の3年間の前後関係を示すと、右の図のようになっています。つまずいた時などには、この系統図の矢印を戻って学習することもよいでしょう。

